

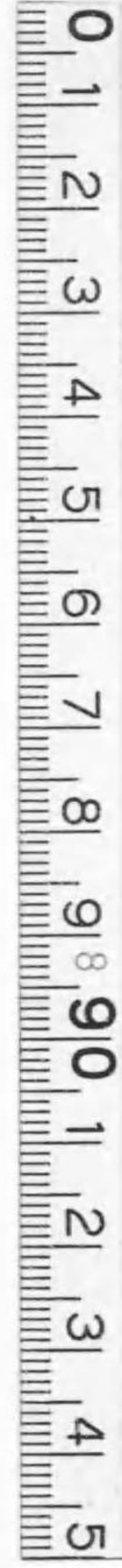
藤原行成御物卷子本朗詠

301-7



\*1200501367203\*

301  
7



始







藤原行成御物卷子本朗詠





和漢朗詠集上

春

立春

早春

春興



春夜

子日 付若系

三月三日

暮春

三月盡

閏三月

鸞

霞

雨

梅 付紅梅

柳

花 付落花

躑躅

款冬

藤

夏

更衣

首夏

夏夜

端午

納涼

晚夏

花橋

蓮

郭公

螢

蟬

扇



秋

立秋

秋興

八月十五夜 付月

女郎花

早燄

秋晚

九日 付菊

萩

七夕

秋夜

九月盡

菊

槿

雁 付歸雁

露

冬

前栽

虫

露

紅葉 付紅葉

鹿

晴衣







柳無氣力條先動池有波文氷盡開

今日不知誰計會春風春水一時來

已上白

夜向殘更寒磬盡春生香火曉爐燃

良春道  
小寺春

そそ出さしてむらみみあふほれさ

たけふのこころわごころと心貫之

えろりけとつそけりりやみののわ  
まんのうほみそけとけみゆらん

春

早春

氷銷田地蘆雖短春入枝條柳眼佷

元

先遣和風報消息續教啼鳥說來由

白



東岸西岸之柳遲速不同南枝北枝之

梅開落已異

春生逐地形  
保胤

些塵嬾蔽人拳手碧玉寒蘆錐脫囊

野

氣霽風梳新柳暖冰消波洗舊苔頭

都

庭增氣色晴沙綠林變容輝宿雪紅

紀東樹暗生春

いそそいそとたつるみのうらたせりわらふ心乃

こころいつけはるかなりのよけつれ 志道里子

はなをたごころるほりのひあまた か

こいつれみやさのけつれ 源隆

そわさきはあらのうらなまゆまて

わづれつむへてそなわらけり 重威

春興



苑下忘歸日羨景樽前勸醉是春風白  
 野草芳菲紅錦地遊絲綠乳碧羅天劉  
 奇酒家く花處く算空管領上陽春白  
 山桃復野桃日曝紅錦之福門柳復岸柳  
 風宛翻廣之絲齊名 逐更花谷好  
 著野展敷紅錦繡當天遊織碧羅綾野

林中花錦時開落天外遊絲或有無白  
 笙哥夜月家く思詩酒春風雲く情若  
えいしきのあはれよやはらきいとものあはれは  
くらくらるくけろはくくくつ  
はくくもあつが  
こころのうけよさるけあくく







こゝろをあてらるるやまうんけいさうのけい  
もよひのきくはよふつらわつむ 結玉  
はのひくきあはるののけいさうのけい  
こゝろをさして 結玉

若菜

野中菘菜世事推之善心鑑下和善俗

人属之美柏 若

あけつら付わのれつらさじこつらえあ  
しんせえらぬんそそわらぬん  
あそつらそわつらあそつらあそつら  
かそえける 若 若  
ゆよそあわそえんしんせえらぬん



三月三日 付桃

三月三日 付桃

春來西苑桃花水不辨仙源何處乃  
春暮月之之三月天醉于花桃李感也  
我后一日之澤万機之餘曲水難遙遠  
惟絕書已字而初地思魏文以觀風流

蓋志之可之譜上小為

煙霞遠近應同石桃李淺深似初盃

花時天似醉

水成已字初三日源起周年法裁霜

萬物  
紫流送月歸

夜雨偷濕曾波之眼新嬌曉月風緩次不

言之口先咲

桃松華城

夕夕夕夕夕夕夕夕夕夕夕夕夕夕夕夕



301  
7

あさけのうたあひるのあさけのうた

暮春

拂水柳花千万點 隔橋鶯舌兩三聲  
 元  
 徑翅沙鷗湖落曉 亂絲野馬草深去  
 未  
 人無更少時 須惜年不常 春酒莫空  
 野  
 別日暑初今日好 難言此處不言何  
 吟  
 春好。

詠朗木子卷物御 成行原藤

昭和十年七月十三日 印刷  
 昭和十年七月十七日 發行

和標手本大成 第十九卷

編輯者 下中彌三郎  
 發行所 東京日本橋區墨堤  
 印刷者 關口一男  
 發行所 東京日本橋區墨堤  
 印刷所 東京日本橋區墨堤  
 共同印刷株式會社  
 東京小石川久堅町

(本製印手)



301  
合  
7



終